

日本地衣学会 No.45

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告	155
	日本地衣学会第3回大会評議員会報告／庶務幹事	
		155

会務報告 Reports of the JSL Activities

日本地衣学会第3回大会評議員会報告

第3回大会定例評議員会は7月11日玉川大学農学部で開催された。木下議長の挨拶があり、定足数の確認が行われ、7名全員の出席で評議員会の成立が宣言された。吉村会長挨拶の後、議事に入った。先ず山本庶務幹事から2003年度事業報告と第3回メール評議員会で承認された2004年度事業計画の主な遂行状況（下記）が報告され、次いで小峰会計幹事から同じく第3回メール評議員会で承認された2003年度収支決算報告案・2004年度予算案、棚橋監事から監査結果が報告された。

【2003年度事業報告】

1. 会運営等

- 1) 会則整備（役員選挙）
- 2) 役員選挙および会長指名役員（会長：吉村庸，評議員：安斉唯夫，岡本達哉，木下靖浩（議長），棚橋孝雄（監事），松本達雄（監事），宮川恒，庶務幹事：山本好和，会計幹事：小峰正史，編集委員会：原田浩（委員長），岡本達哉，木下靖浩，棚橋孝雄，地域活性化委員会：安斉唯夫（委員長），今井正巳，岡本達哉，木下靖浩，小林寿宣，高萩敏和，中嶋裕之，原光二郎，坂東誠，学術情報交流委員会：岡本達哉（委員

長），ホームページ運営委員会：原光二郎（委員長））

2. 主催大会，シンポジウム，観察会等

- 1) 日本地衣学会第2回大会・シンポジウム（京都大農学部，8/2-3，委員長：宮川恒）および青空地衣教室（京都高雄），第2回観察会（秋田県森吉山，8/30-31，世話人：山本好和）およびワークショップ（秋田県大，9/1-3），植物学会大会関連集会（札幌，9/26，世話人：原田浩・岡本達哉）および青空地衣教室（大雪山愛山溪）

3. 印刷物発行等広報活動

- 1) 学会誌「Lichenology」2巻発行（1号7/下旬）
- 2) 日本地衣学会 Newsletter 発行（No.14 3/31，No.15 4/1，No.16 4/20，No.17 5/6，No.18 5/16，No.19 6/5，No.20 6/20，No.21 7/7，No.22 8/11，No.23 8/25，No.24 10/15，No.25 10/31，No.26 10/31，No.27 11/10，No.28 11/17，No.29 12/30）

4. ホームページの充実

（<http://www.kulawanka.ne.jp/~yozyamam/jsl/index.html>）

- 1) 掲載項目一會則，入会申込，大会参加案内・参加申込書，観察会案内など

5. 地域事業: 青空地衣教室—北海道地区 9/24-26(水-金) 第 5 回: 大雪山愛山溪【植物学会大会関連】, 東北地区 5/17(土) 第 2 回: 田沢湖, 関東地区 2/2(日) 第 1 回: 箱根, 7/20(日) 第 3 回: 玉原高原, 11/16(日) 第 6 回: 北鎌倉, 関西地区 8/4(月) 第 4 回: 京都高雄【地衣学会大会関連】
6. 2003 年度会計報告(会計幹事・監事)

【2004 年度事業計画および中間報告】

1. 会運営: 会則等(会計に関する申し合わせ)
2. 主催大会, シンポジウム, 観察会等
 - 1) 日本分類学会連合ブックフェア「なん種類の生物が日本にいるか知っていますか?」(ジュンク堂書店池袋本店 7 階, 2/1-3/15, 世話人: 安斉唯夫)
 - 2) 日本地衣学会第 3 回大会・シンポジウム(玉川大農学部, 7/10-11, 委員長: 南佳典)
 - 3) 植物学会大会関連集会(藤沢, 9/10, 世話人: 山本好和)
 - 4) 日本地衣学会第 3 回観察会(岡山後楽園&磐窟谷溪谷, 10/17-18, 世話人: 西村直樹)
3. 印刷物発行等広報活動(編集委員会担当)
 - 1) 学会誌「Lichenology」発行 2 巻(2 号 3/31), 3 巻(1 号, 2 号)
 - 2) 日本地衣学会 Newsletter 発行(No.30 1/31, No.31 1/31, No.32 2/15, No.33 3/10, No.34 3/15, No.35 3/25, No.36 4/10, No.37 4/30, No.38 5/31, No.39 6/15, 随時予定)
4. ホームページ(HP 運営委員会制作・運営): 新サーバー(秋田県立大学次世代生物生産システム学講座内)への移行(3/16)

(<http://www.lichen.akita-pu.ac.jp/jsl/>)
5. 地域事業(地域活性化委員会主催行事, 決定済み)
 - 1) 青空地衣教室—東北地区 9/23(木) 第 10 回: 田沢湖, 関東地区 4/11(日) 第 7 回: 千葉昭和の森公園, 5/30(日) 第 8 回: 神奈川大山, 9/5(日) 第 9 回: 本白根山, 10/23(土) 第 11 回: 入笠山山麓, 10/24(日) 入笠山講演会・観察会(入笠ボランティア協会主催), 10/31(日) 第 12 回: 新潟湯沢
 - 2) ワークショップ—東北(秋田) 9/22(水) 地衣類初級編, /24(金) 地衣類培養編, /25(土) 地衣類

- 分析編, /26-27(日月) 地衣類遺伝子編
6. 新規事業(「日本の地衣フロラ解明プロジェクト」委員会):
 - 9/6(月): プロジェクト調査-本白根山(地衣学会, 群馬県立自然史博物館共催)
 7. その他
 - 学術雑誌の電子化(国立情報学研究所)

次に, 下記事項が提案され, 審議された.

1. 第 3 回メール評議員会で承認を受けた(2004 年 4 月 1 日)以後, 入会手続きされた 8 名(一般 1 名, 学生 7 名)と退会 2 名が庶務幹事より紹介され, その入退会が承認された.
2. 大会運営内規案と会計内規案が庶務幹事より提案され, 承認された.
3. 2003 年度予算計画案が小峰会計幹事より提案され, 承認された.

次に, 下記事項が報告され, 協議された.

1. 10 月 17 日から 18 日に岡山後楽園と磐窟谷で開催される日本地衣学会第 3 回観察会について庶務幹事から紹介があった. 庶務幹事から第 4 回観察会については栃木県など関東地域を予定している旨紹介があった.
2. 日本地衣学会第 4 回大会が広島大学で出口先生を準備委員長として開催されると庶務幹事から紹介があった. また第 5 回大会を明治薬科大学で開催をお願いしていることが庶務幹事から紹介があった. 今後, 東西で観察会と学会大会を交互に開催する計画である.
3. 原田編集委員長から編集委員会の報告があった.
4. 岡本学術交流委員長から学術交流委員会の報告があった.
5. 安斉地域活性化委員長から地域活性化委員会の報告があった.
6. 原ホームページ運営委員長よりホームページ運営委員会の報告があった.

(庶務幹事)

【別紙】

収入		収入	
年会費	332,085	年会費	476,000
寄付金	14,000	内訳 一般会員 97名 × 4,000 =	388,000
その他	98,000	学生会員 18名 × 2,000 =	36,000
内訳 Lichenology パック	28,000	海外会員 11名 × 2,000 =	22,000
ナンバー販売		団体会員 3団体 × 10,000 =	30,000
生駒氏資料販売	70,000	学会誌等収入	40,000
特別繰越金(*)	42,309	前年度繰越金	605,076
前年度繰越金	466,518	計	1,121,076
計	952,912		
支出		支出	
学会誌関係	175,360	学会誌関係	807,000
内訳 印刷費(1巻分)	144,900	内訳 印刷費 Vol2(2)分 350,000 350,000	
郵送費(1回分)	30,460	2回分 × 170,000 340,000	
News Letter 関係	23,207	郵送費 3回分 × 35,000 105,000	
内訳 印刷用紙代	1,997	封筒費等 3回分 × 4,000 12,000	
郵送費	21,210	News Letter 関係	27,000
大会関係	110,000	内訳 印刷費	0
内訳 大会補助費	100,000	印刷用紙	2,000
吉岡氏交通費	10,000	郵送費	25,000
事務経費	31,549	事務経費	40,000
内訳 通信費	21,728	その他	100,000
文房具代	9,821	内訳 大会助成金	100,000
その他 生駒氏資料送料	7,720	予備費	147,076
次年度繰越金	605,076		1,121,076
計	952,912		

(*)特別繰越金について

会費収入において、2ないし3年分を先払いされている会員、ならびに、会費の重複納入をされて、次年度会費に振り替えている会員が多数おり、昨年まではこれらの会費は当年度予算に組み込んでいなかった。しかし、計算が煩雑になるため、本年度より、一括して処理することとした。特別繰越金は、これまで年度会計に組み込まれていなかった会費である。

☆大会運営についての内規

- (1) 本内規は、日本地衣学会（以降、学会と称す）の会則第3条に基づく大会の運営に関するものである。
- (2) 大会は原則として開催予定前年の定例評議員会において、大体の開催日（7月中旬頃から8月中旬頃の間）、開催地、開催責任者（大会準備委員長、開催以後は大会実行委員長と称する）の承認を受けるものとする。大会準備委員長は評議員会の承認が得られた後、準備委員会を組織する。準備委員会は大会開催と同時に実行委員会に名称変更する。
- (3) 大会は、定例評議員会、総会、懇親会、研究発表会で構成される。ただし、シンポジウム、ワークショップ、講演会、観察会、研修会、同定会などを含めてもよい。ただし、他学会との合同大会を開催する場合はこの限りではない。
- (4) 大会準備スケジュールは別紙に定める。
- (5) 大会は参加費、懇親会費および寄付で運営される。また、原則として定例評議員会で承認されれば学会は資金援助を行う。
- (6) 大会準備（実行）委員会には会計監査をおき、大会終了後速やかに会計監査を行い、その正当性、適法性を学会監事に文書で報告する。
- (7) 実行委員長は会計監査終了後、開催関連書類、会計報告書などをまとめて事務局に報告する。なお、開催剰余金を生じた場合や開催費用に不足を生じた場合は会計

内規に従う。

- (8) 大会実行委員長は大会終了後、ニュースレター掲載用の大会報告を編集委員長に送付する。
 - (9) この内規は評議員会において過半数の同意を得て改定できる。
- 附則 本内規は2004年7月10日より実施する。

【別紙】大会準備スケジュール

大会開催を7月下旬とする原則的なものを示す。

1. 5月初旬：大会参加案内HP掲載、e-mail 非保有者への郵送
2. 5月10日：生物科学ニュース7月号（6月20日発行）掲載のための原稿送付締切
3. 6月初旬：講演申込締切
4. 6月中旬：大会プログラムHP掲載
5. 7月初旬：参加事前申込締切、講演要旨集用要旨締切、IAL Newsletter 投稿締切
6. 7月下旬：大会開催
7. 8月下旬：会誌用要旨送付締切
8. 11月下旬：IAL Newsletter 大会報告（大会委員長または庶務幹事）

☆日本地衣学会会計内規

(会計年度)

- (1) 本学会の会計年度は当該年 1 月 1 日に始まり、12 月 31 日に終わるものとする。

(業務内容)

- (2) 会計は以下の各項に関する業務を行う。
- ア 年会費の徴収
 - イ 寄付金等の受付
 - ウ 学会誌バックナンバー、関連発行物の販売
 - エ 年度予算の作成
 - オ 決算書の作成
 - カ 学会誌発行、発送、事務用品購入等に伴う支出業務
- 2) 年会費は郵便振込により徴収する。現金で徴収する場合には、入金年月日、入金額、入金者を明記した領収書の発行を必要とする。
- 3) 学会誌バックナンバー等の販売については、前項と同様に処理するものとする。なお、販売価格については別表の付帯資料において定める。
- 4) 支出にあたっては、支出年月日、支出額、支出内容を明記し、宛先を「日本地衣学会」とした領収書を必要とする。事務用品等、現金による支出が必要な場合には購入者の立て替え払いとし、領収書と引き替えに代金を受け渡すものとする。
- 5) 年次大会、シンポジウム等の開催費用については学会会計とは別個のものとし、各実行委員会の責任とする。決算の結果、剰余金が生じた場合には、次年度年次大会、次回シンポジウム等の運営費用にあてるものとする。この際、剰余金の保管については学会会計幹事が責任を持って行う。また、開催費用に不足が生じた場合、各実行委員会は評議員会に報告し、評議員会が必要と認めた場合には学会会計より補填を行う。

(予算)

- (3) 会計幹事は、前年度会計年度終了時(12月31日)までに、新年度予算案を作成しなければならない。
- 2) 新年度予算案は、前年度決算とともに評議員会に提出し、その承認を得なければならない。

(決算)

- (4) 会計幹事は、当該会計年度終了後、直ちに収支決算を行い、決算書を作成しなければならない。
- 2) 会計幹事は、当該年度予算書ならびに決算書を、収入証明書類、支出証明書類、預金通帳を添えて監事に提出し、会計監査を受けなければならない。
- 3) 会計幹事は、会計監査終了後、ただちに決算書を新年度予算案とともに評議員会に提出し、その承認を得なければならない。
- 4) 決算書の作成ならびに会計監査は 1 月 31 日までに完了するものとする。

(会計監査)

- (5) 会計監査は学会監事 2 名が実施する。
- 2) 監事は、当該年会計年度終了後(12月31日)、会計幹事から決算書と収入・支出証明書類、預金通帳の提出を受け、新年度の 1 月 1 日より 1 月 31 日の間に会計監査を実施する。
- 3) 監事は、予算執行に問題がない場合、様式 1 に示す会計監査報告書を作成し、監査資料とともに会計幹事に引き渡す。会計監査報告書には、監事 2 名の署名と捺印を必要とする。
- 4) 監事は予算執行に問題を見いだした場合、直ちに評議員会に報告する。評議員会はその内容、および処置を協議、決定する。
- (6) この内規は評議員会において 2 分の 1 以上の同意を得て改定できる。

付則 本内規は 2004 年 7 月 11 日より実施する。

付帯資料

学会誌バックナンバー等販売価格

	学会員	非会員
学会誌バックナンバー(1冊)	¥2,000-	¥4,000-
学会誌定期購読(年間)	無料	¥8,000- ^{*1}
生駒氏資料集 ^{*2}	¥10,000-	
チェックリスト	¥1,200-	¥2,000-
チェックリスト デジタルデータ ^{*3}	会 員 ¥1,200- 団 体 会 員 ¥2,500-	—
チェックリスト +CD	会 員 ¥2,000- 団 体 会 員 ¥3,000-	—

*1 図書館などの定期購読も含む。

*2 3 冊一組(残部 7 組)、送料の負担は求めない。

*3 非会員には販売しない

ア 購入の申し込みは先は学会庶務幹事もしくは会計幹事とする。

イ 書店等への委託販売については、店頭での販売価格(税抜き)が非会員向け販売価格と同額となるよう卸価格を決定する。

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌42号148ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 42, p. 148 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 45号

発行日：2004年 11月 23日

編集：原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内